

# 「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

## “学習講演&署名ラストスパート”の集い

—7月4日(土) 13:30~15:00 高校会館大ホール—



慶應義塾大学法学部政治学科2年/広島県福山市出身(19歳)

### 「オンライン講演」

講師：高橋悠太さん

- ・「カクワカ広島」(正式名称:核政策を知りたいヒロシマ若者有権者の会)
- ・「議員ウオッチ」プロジェクト・リサーチャー
- ・「ヒバクシャ国際署名」ユース ほか
- ※国連本部、インドネシア、モンゴル、アルジェリア、ザンビア、ジンバブエ、コモロ連合、東ティモールの大使館訪問

広島・長崎の原爆から75年。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、広島平和記念資料館は2月末から臨時休館。長崎資料館も当面閉鎖が続き、8月の平和式典も開催が未定となっている。このような状況の中、核兵器廃絶や平和運動の新たな模索が始まっています。4月25日、オンラインで原水爆禁止世界大会NYが開かれました。日本被団協の和田征子さんが「被爆証言」を配信し大きな感動を呼びました。

岩手でも、新たな模索(試み)として標記の集いを企画しました。参加者は限られますが、呼応した取り組みを共に模索していきたい。

この集いで、4~5月ニューヨークのNPT再検討会議、原水爆禁止世界大会 inNYへ参加予定だった4人の方々から、核兵器廃絶への思いや決意をスピーチしていただきます。

- 三輪音葉さん(生協連・大学3年生)
- 佐藤愛理さん(いわて生協)
- 斎藤 愛さん(高校生平和大使・高校3年生)
- 荒川博志さん(岩手民医連)

※詳しくは、別紙案内をご覧ください!

「岩手の会」結成から3年半、署名の目標を県民の大凡半数=50万筆として取り組んできた。

5月15日現在の到達は189,400筆=目標比37.9%、住民過半数比30.2%。内訳をみると41の団体・組織がまとめて報告。その内、一千筆以上の組織と団体がいわて生協107,738、県原水協34,188、平環センター11,607、地域婦人団体協議会9,652、学校生協6,438、被団協5,280、岩手民医連・盛岡医療生協5,120、岩手医労連1,128である。更に、街頭や高校門前で592、各種集会時に414、郵送で86、クリニックや修道院、協会からストレートに届けられ、その広がりが判る。個人では、一万筆を目標にしている伊藤被団協会長が4月23日時点で3,203人分集めている。

地域別にみると、唯一住民過半数突破の釜石市が51.7%、いわて生協が一万近い署名を集めた宮古市が39.4%、3月市議会で政府への意見書を3度目にして採択した大船渡市が38.1%、地域の会を立ち上げた遠野市が36.8%と続いている。19万筆まであと600人、20万筆まで10,600人!知恵と力の結集を!

### 横沢たかのり参議院議員(野党統一)から443名分の署名が届けられる!

連休明けの5月8日、矢巾町の町会議員小川文子さんが横沢たかのり参議院議員事務所名の大型封筒2袋に入った「ヒバクシャ国際署名」を県被団協事務局長下村宅に届けてくれた。署名を取り出してみると、横沢議員本人の署名と達増知事の写真入りの署名用紙(コピーした物)にビッシリ、443人分の署名が入っていた。「岩手の会」代表・県被団協の会長名でお礼の文書を送った。

### 1月から803筆集約!

—新日本婦人の会県本部—

新日本婦人の会岩手県本部は、今年1月から4月末までに、県内各地で行動を積み重ね803筆集約した。紫波町では1月11日の成人式会場前で行動し46人から、更に町内の集まりやつながりを通して合計183筆、釜石支部では班ごとにコツコツ集約して140筆、花巻や北上でも50筆。協会にも協力を申し入れたところ、盛岡市内の内丸協会から62筆の協力が得られた。県本部の目標は2万筆、現在1万6543筆の到達(82.7%)になっている。

19万筆早期に突破し、20万筆へ!

19日、中米のベリーズが37カ国目に核兵器禁止条約を批准! 国際条約発効にあと13カ国!

※「岩手の会」としての署名の最終集約は9月10日です!